

# 管理所レビュー VOL.12

(R 5.10.24 水源林管理所)

令和5年度の第12回ボランティア活動が、10月14日(土)に予定どおり実施されました。

活動当日の最高気温は16度、朝の最低気温は7度まで下がりました。前回の活動から最高・最低気温ともに10度以上下まわり、冬が近づいていることを実感します。

天気予報によると今後は大きな天気の崩れはないものの、朝晩と日中の寒暖差が大きくなるそうです。風も冷たくなりますので羽織るものや着替えの準備をしてご参加ください。

それでは、次回最終日の安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 活動日の様子



吹く風が冷たくなってきました。



準備体操をしっかりと。



いってらっしゃ〜い!



5班までは上り坂、頑張って!



複数人で切り込み具合の確認を!



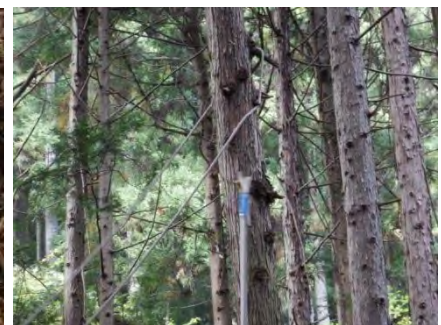
樹高の高い木の伐倒は要注意!



足場の悪い場所では安定した体勢で!



追い口切りは真っ直ぐに。



ロープは枝の回避でより高く。



同じ材の同時玉切りは声掛けを!



急斜面での作業は注意して!



浮いた材の処理は要注意!

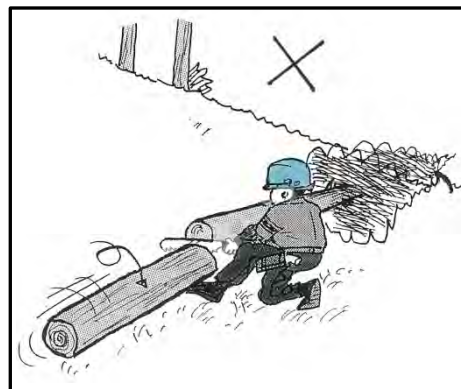
## 2 玉切り作業時の注意事項について

### (1) 玉切り作業は斜面上部から

玉切り作業を行う際、斜面の下側で作業すると材が切離された瞬間に転がり、足の上ののったり、当たったりするため危険です。玉切り作業は必ず斜面上側で行い、足を材の下に入れないようにしてください。特に重量のある材の切離し時は、必ず斜面上部で作業してください。

また、材の状態をよく観察し、切離した材の動きによって危険が生じないように、ロープなどで材が動かないように固定してください。

※イラストは全て悪い(危険な)例です。

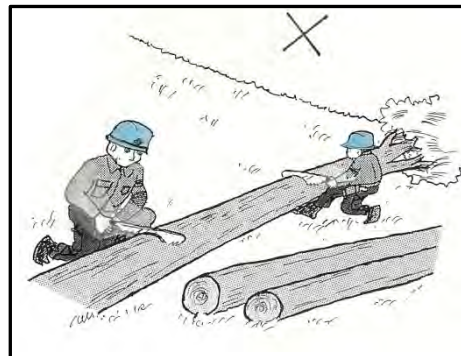


### (2) 同一の材を同時に玉切りしない

2人以上で同一の材を同時に玉切るとノコギリが挟まれ、切りにくくなるので注意が必要です。

同時作業となった場合は、作業者同士で声を掛け合い、同時作業の時間を出来る限り短くし、材の動きや切離した時の状態を予測し、道具の破損や事故が起きないように注意して作業してください。

また、(1)にも気を付けてください。



### (3) 上下作業をしない

斜面で作業を行なう場合、必ず作業者の位置が上下にならないようにしてください。

玉切り材が転がったり、浮石や木片が転がり落ちたりして大変危険です。

上下作業になりそうな場合は、作業者同士で声を掛け合い、作業の順番等の調整をしてください。

また、上下の位置関係になっている作業者が気が付いていない場合は、周囲の作業者が注意喚起の声掛けをしてください。



(「伐木造材作業者必携」より一部抜粋)

## 3 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいる横浜市管工事協同組合様が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするためのこの活動が、今後ますます広がることを期待します。

ボランティアの会の皆さん、ご協力ありがとうございました。



横浜市管工事協同組合様  
(掲載許可済み)

※ 次回最終日の10月26日(木)は、晴れ、最高気温18度の予報です。

★それでは10月26日(木)、気をつけてお越しください。